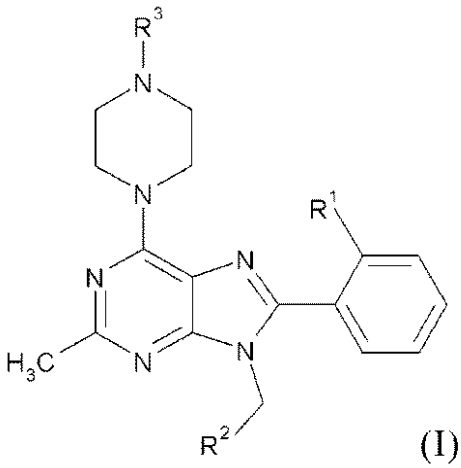
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公表番号】特表2013-523755(P2013-523755A)
【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2013-031
【出願番号】特願2013-502773(P2013-502773)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 473/34　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/52　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 473/34　３６１
Ｃ０７Ｄ 473/34　ＣＳＰ
Ａ６１Ｐ 25/04
Ａ６１Ｐ 19/02
Ａ６１Ｐ 25/06
Ａ６１Ｐ 29/00
Ａ６１Ｋ 31/52

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月12日(2014.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の式（Ｉ）の化合物：
【化１】



(I)

（式中、
Ｒ１は、ＣｌまたはＣＨ３であり、

R^2は、C≡N、－$CH_2SO_2CH_3$、－CONHCH_3、－$CH_2NR^4R^5$、または－$CH_2C{\equiv}N$であり、
R^3は、C_1－C_2アルキル、C_1－C_2フルオロアルキルまたはC（O）CH_3であり、
R^4は、H、C（O）CH_3、CO_2CH_3またはSO_2CH_3であり、
R^5は、Hであるか、またはR^4と結合してピロリジン－２－オンを形成する）
またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項２】
R^1がＣｌである、請求項１に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項３】
R^2が、－$CH_2SO_2CH_3$、－$CH_2NR^4R^5$、または－$CH_2C{\equiv}N$である、請求項１または２に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項４】
R^2が、－$CH_2SO_2CH_3$である、請求項１～３のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項５】
R^3が、メチル、２－フルオロエチルまたはC（O）CH_3である、請求項１～４のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項６】
R^3がメチルである、請求項１～５のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項７】
R^5がHであり、R^4がC（O）CH_3またはCO_2CH_3である、請求項１～６のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項８】
８－（２－クロロフェニル）－６－（４－メチルピペラジン－１－イル）－２－メチル－９－（２－メチルスルホニルエチル）プリンである、請求項１に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか一項に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩と、薬学的に許容可能な希釈剤もしくは担体とを含む、医薬組成物。
【請求項１０】
１種以上の治療成分をさらに含む、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
疼痛の治療に使用するための、請求項９または１０に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
骨関節炎疼痛または片頭痛の治療のための、請求項１１に記載の医薬組成物。